

各局いかがお過ごしでしょうか。11月は、何はさておき、月末のCQ World Wide DX Contest CWが印象的でした。

今月のレポートでは、I JA3FGJ平林さんが拙宅にお越しくくださったとき、ノイズ退散・接地の重要性をお示しいただきましたので、接地を適切にすること、II コンテストに備え、現用GPの給電点を上げること、III CQ WW CWへの参加、主にこの三つが揚げられます。

I 接地棒1mものを3本を用意して、拙宅の周りに打ち込みました。現在、それらを被覆ビニル撚り線で接続した状態です。

月末、青木会長さんの宇陀市内シャックを訪問して、測定器をおかりできました。測定方法をご教示いただき、手順にしたがって測定を試みました。まずは、3本全体で測定しますと、 42Ω を示しました。その後、2本で測定してみると、 50Ω ありました。1本のロッドで概ね 100Ω 程度であると承知していましたので、全体としてはなるほどと納得できる接地抵抗の値と考えています。

接地形の空中線を用いる場合は、放射効率が関係するので極力下げる必要があると思われます。使用しているインバータの高調波ノイズの抑制のためにも、これを下げるのは急務の一つです。単純には、更に打ち込むロッド数を増やすことになりませんが、経済性も考慮して、それ以外のソリューションも検討してみたいところです。当面は、垂直系のアンテナの利用を考えていますので、ラジアルで対応していますが、ローバンドでの運用や、安全性を考慮すると、なるべく減減させるよう、更に検討を重ねていくつもりです。

II 拙宅では、遠距離通信用にマルナバンドGPであるCP-6を使用しています。最初、給電点が6mの位置でしたが、一旦8mに上げました。DIYによる48.6mm径の単管パイプを組み合わせて、オフグリッドのソーラー発電システムパネル7枚と5本のアマチュア無線用アンテナを拙宅南および西側に構築した工作物に架設しています。

現在、給電点部は更に2m上げ、10mになっています。CP-6として観ると、アンテナの最頂部は、14.5m程度になっています。上部でアンテナを組み立てる作業は、より危険でもあり、なるべく低い部分で作業をしました。その後に、アンテナ全体を高い位置に上げる、という方法で進めています。頂部に登り下りを伴う作業の場合は、細心の注意を払いつつ行っていますが、今後は、頂部が折れ曲がったり、倒壊の危険が無いよう、適切にワイヤステーを張り巡らす工事を開始していきます。

アンテナタワーの建設をお勧めいただいています。将来的なDXの目標をどのように設定するかとの兼ね合いにより、良い機会に、設置できればと考えています。

以下、接地抵抗測定時の記録と、単管パイプで組み上げたタワーとアンテナを見上げた様子を示します。また、離れた位置からアンテナを望んだ光景です。



III CQ WW CW Contest 2015

コンテスト初日は、接地抵抗測定器をお借りするため、宇陀市へ行きました。また、NDXAの皆様にもお出合いでき、先の小豆島IOTAサービス時のQSLカードの整理作業をご一緒していましたので、コンテストへの参加は、二の次になりました。しかし、夜に入りバンドを聴きましたら、各局が猛烈なキーイングスピードであるのに、少し引けてしまい、数局の交信にとどまりました。

翌日、日曜日は、以前から別の予定があつて、運用は途切れ、午後と22時以降及び、翌月曜日の早朝から調子が上がってきて、交信数は、最終55となりました。

右のグラフのように、二日目午後から、夜、そして月曜日の早朝から終了時刻あたりまでが、運用できた時間帯です。

バンドごとの交信数等・自動採点結果は、以下のとおりでした。

Band	QSOs	Pts	Multi
3.5MHz	3	3	3
7MHz	23	49	22
14MHz	13	21	16
21MHz	13	28	12
28MHz	3	5	4
<hr/>			
Total	55	106	57



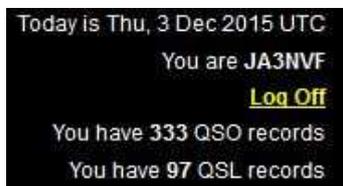
エリア別の交信の様子は、以下の表のとおりでした。

Band	NA	SA	EU	AF	AS	OC	AN	Sum
3.5MHz	0	0	0	0	3	0	0	3
7MHz	1	0	12	0	10	0	0	23
14MHz	1	0	0	0	9	3	0	13
21MHz	7	0	1	0	5	0	0	13
28MHz	0	0	0	0	2	1	0	3
Sum	9	0	13	0	29	4	0	55

初めてのCQ WW CWコンテストが終了の後、速やかにログを整理して、ADIF形式に変換しARRLのデータベースにアップしました。本日12月3日の様子では、CWでのQSLは以下のとおり、ほんのわずかです。

DXCC Award	New LoTW QSLs	LoTW QSLs in Process	DXCC Credits Awarded	Total (All)	Total (Current)
<u>CW</u>	6	0	0	6	6

LoTWのトップページ、右上に表示される交信数とQSLsを確認するのが日課になっています。



NDXA諸先輩とは、とても比較になりませんが、これから少しずつ、CWを含むDXでのQSLが増えていくよう、取り組みを進めていきたいと思っていますので、どうぞ、よろしくお願い致します。

その他、11月は、拙宅内で200v系で無線機を使えるよう、電気工事をいたしました。ほどよい環境になれば、増力器を設置・検査受けをする予定にしています。

Written by Kohji SHINO, ©JA3NVF / KB1WCQ, 3, Dec. 2015
<http://ja3nvf.denshin.info/at/> Cellphone +81-80-2441-4322